

# 共通参照レベル 自己診断基準

|      |             | A1                                                                                                                             | A2                                                                                                                     | B1                                                                                                                                               | B2                                                                                                                                      | C1                                                                                                                                      | C2                                                                                                                                                   |
|------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 理解する | 聴解          | ゆっくりはつきり話してくれば、自分自身や家族、身の回りの具体的なことがらに関するなじみのある語や非常に基本的なフレーズを聴き取ることができる                                                         | ごく身近なことがらに関するフレーズや最もよく使われる語句（例えば、個人や家族に使われる非常に基本的なデータや買ひ物、地域、職業など）が理解できる。短く、はっきりした、シンプルメッセージやアナウンスの中に出てくる主要なポイントが聞き取れる | 仕事や学校、レジャーなどで日常的に出てくる、なじみのある話題に関する分かりやすい標準的なスピーチについて、主要なポイントが理解できる。比較的ゆっくりではつきりした放送であれば、時事的なテーマや個人的・職業上関心を引く話題に関するラジオやテレビ番組の多くにおいて、主要なポイントが理解できる | 話題が比較的良好に知っているものであれば、長いスピーチや講義を理解でき、議論の複雑な筋も追っていくことができる。テレビのニュースや時事的な話題に関する番組の大部分を理解することができる。標準語の映画の多くが理解できる                            | 構成がはっきりしなかったり、関係性が暗示されているだけできちんと明示されていないような場合でも長いスピーチを理解することができる。それほど努力をしなくてもテレビの番組や映画が理解できる                                            | 生の音声であれ、放送されたものであれ、ネイティブが早いスピードで話しても、アクセントに慣れるまでの時間が多少あっても、ほとんどのような種類の音声言語も理解に全く支障がない                                                                |
|      | 読解          | なじみのある名前や語、非常にシンプルな文（例えば、表示やポスター、カタログなど）が理解できる                                                                                 | 非常に短く、シンプルな文書が読める。広告や案内書、メニュー、時刻表などシンプルな日常的な資料の中にある特定の、予測可能な情報を見つけることができる。短く、シンプルな私信が理解できる                             | よく使われる日常的なことばや職業関連のことばを主に使って書かれている文書が理解できる。イベントの概要や私信の中に書かれた気持ちや希望を理解することができる                                                                    | 書き手が特定の態度や視点を持って書いた現代の諸問題に関する記事やレポートを読むことができる。現代の散文による文学作品が理解できる                                                                        | 長くて複雑な報告文や文学的テキストを、文体的な差を意識しつつ、理解することができる。自分の分野に関係しないものでも、専門的な論文や長い技術的説明書を理解できる                                                         | マニュアルや専門的な記事、文学作品など抽象的で、構造的・言語的に複雑な文書を含め、ほとんどあらゆる種類の文書を容易に読むことができる                                                                                   |
| 話す   | 音声を紹介したやりとり | 他の人がゆっくりしたスピードで繰り返してくれたら、言い換えてくれたり、言おうとしていることを実際に口に出す時手助けしてくれば、シンプルな言い方でやりとりができる。さしあたって必要なことやとてもよく知っている話題に関する質問をしたり、質問に答えたりできる | 身近な話題や活動について、シンプルから直接的な情報のやりとりをしななければならない時、単純で手順の決まった場面でのコミュニケーションができる。一人でやりとりを続けられるほど理解できるわけではないが、非常に短い生活上のやりとりに対処できる | 当該言語が使われている地域に旅行している時に起こりうる状況にほぼ対処できる。なじみがあったり、個人的に興味があたり、日常生活に関する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事的なできごと）に関する会話に特に準備せず入っていくことができる。                          | ネイティブスピーカーと通常のやりとりがほぼできるくらい、流暢に、自然に反応しあう、コミュニケーションできる。なじみのある状況においては、自分の見方を説明したり、立証したりしながら、ディスカッションに積極的に参加できる                            | 表現をことさらに探さなくても流暢に、自発的に自分の言いたいことを表現できる。社会の中で、あるいは業務上、柔軟かつ効果的にことばを使うことができる。正確に考えや意見をまとめ、他の話し手の考えや意見と自分の発言とを効果的に結びつけることができる                | 特に苦勞せずどんな会話やディスカッションにも加わることができる。慣用的な表現や口語的な言い回しにもよく通じている。自分の言いたいことを流暢に表現でき、微妙な意味合いまでも正確に伝えることができる。問題があっても、他の人が気が付かないほど自然に話を前に戻して、困難を回避するよう言い直すことができる |
|      | 発話          | 自分が住んでいる場所や知っている人のことを述べる単純な文やフレーズを使える                                                                                          | 自分の家族やその他の人々、住環境、自分がこれまで受けてきた教育、現在あるいは最近の仕事について、シンプルなもの方で述べるためのフレーズや文が使える                                              | シンプルな言い方ではあるが、経験やできごと、夢や希望、願いなどを述べる際、文を組み合わせたことができる。意見や計画に関する理由や説明を簡潔に述べることができる。物語を語ったり、本や映画のあらすじを述べ、それに対する自分の態度を表明することができる                      | 自分の興味ある分野に関する幅広い話題を、明確、詳細に描写することができる。様々な意見の利点・難点をあげながら、特定のテーマに対する見方を説明することができる                                                          | サブテーマをまとめ、特定のポイントをふまえて、適切な結論で締めくくって、複雑なテーマを、明確・詳細に表現することができる                                                                            | 状況に即した文体を用い、聞き手が重要なポイントに注意を向け、それを頭に入れておけるような効果的な論理構造を使って、明確で、スムーズに流れる描写や論議を行うことができる                                                                  |
| 書く   | 作文          | 短く、簡単なハガキ（例えば、季節のあいさつ状など）を書くことができる。書式に個人データを書きこむことができる（例えば、氏名・国籍・住所をホテルの宿泊名簿に記入するなど）                                           | 身の回りが必要なことがらに関する短い簡単なメモやメッセージを書くことができる。非常にシンプルな私信（例えば、誰かにお礼の気持ちを伝えるなど）を書くことができる                                        | なじみのある話題あるいは個人的に興味のある話題に関してシンプルなものや、あるいは個人的な文書を書くことができる。経験や印象を述べる私信を書くことができる                                                                     | 自分の興味ある分野に関する幅広い話題について、明確、詳細な文書を書くことができる。情報を伝えたり、特定の見方に賛成・反対する理由を挙げたりしながら、エッセーやレポートを書くことができる。できごとや経験が自分にとってどういう意味があるかに焦点を当てて手続を書くことができる | それなりの長さで見方を表現しながら、自分の言いたいことを明確で、分かりやすい構造的な文書で表すことができる。重要と思われることがらを強調しながら、複雑なテーマについて、手紙やエッセー、レポートを書くことができる。自分が想定している読者に対して適切な文体を選ぶことができる | 明確で、スムーズに流れる文書を適切な文体を用いて書くことができる。読み手が重要なポイントに注意を向け、それを頭の中にとめておけるような効果的な論理構造を用いて、主張を行う複雑な手紙やレポート、記事を書くことができる。専門的記事・文学作品のまとめや批評を書くことができる               |

[Reference]

Common Reference Levels: self-assessment grid

Council of Europe, Modern Languages Division

Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment

Cambridge: Cambridge University Press, 2001 (pp. 26-27).